

# 大切な人へ白神ねぎを

## Contents

- 02 | Contents・今月の表紙
- 03 | **特集** 「能代ねぎらいの日」大切な人へ感謝の気持ちを
- 08 | 稲作・畑作営農情報
- 10 | あきた白神トピックス
- 12 | 福祉介護課だより
- 13 | 能代科学技術高校レポート～I Love 百姓～
- 14 | おたより・クロスワード
- 15 | **号外** TAC耳寄り情報
- 16 | JAあきた白神からのお知らせ
- 20 | Mama'sキッチン



11月23日の「勤労感謝の日」に合わせて、ねぎらいの気持ちを込めて能代市特産「白神ねぎ」を贈る習慣を広げ、地元での「白神ねぎ」のPR並びに消費拡大につなげようとするイベント「能代ねぎらいの日」が昨年に引き続き開催されました。

このイベントは能代市農林水産部ねぎ課の主催で11月20日から23日の4日間開催され、量販店のテラタバイパス店（能代市）と天王店（潟上市）、いとくの能代ショッピングセンターほか県内全20店舗で同時開催されると、花束にみたてられたオリジナルラッピングされた「白神ねぎ束」（3本入り）の特設コーナーが設けられ1束128円で販売されました。

20日（土）と21日（日）には、同市ねぎ課のマスコットキャラクター「白神ねぎのん」と、JAあきた白神から「白神ねぎガール」の2人が店頭立ち、買い物に来た家族連れに、「能代ねぎらいの日」イベントオリジナルのステッカーや缶バッジを手渡したり、握手や写真撮影に応じるなどイベントを盛り上げてくれました。

能代市ねぎ課佐藤栄一課長は「勤労感謝の日に合わせて大切な人に「ねぎ」の気持ちを込めて「白神ねぎ」束を贈り、これから、ますますおいしくなる「白神ねぎ」料理を食べて心も体も温めてもらいたい。」と話してくれました。

今月の特集では、このイベントの様子をご紹介します。

#勤労感謝の日  
#新嘗祭 #白神ねぎ  
#ありがとう #感謝  
#五穀豊穡 #大切な人へ  
#ねぎらい #風邪予防  
#疲労回復 #栄養豊富  
#生活習慣予防  
#美容等に効く



店舗入り口で「白神ねぎのん」がお出迎え。



仲良しのお友達グループと記念撮影。



大好きなお母さんと一緒に。

### 大好評!! 広報しらかみハイライトムービー

毎月、広報しらかみ編集時にはたくさんの写真を撮影します。紙面の都合上、本誌では伝えきれなかった場面をご紹介します！  
右記QRコードを読み取りご視聴ください。  
目指すは動く広報誌!!



## 今月の表紙

### 「サツマイモ大きいぞ」と園児らの声響く



青年部東支部（大塚裕成支部長）は、能代市第一保育園の年長12人と能代市第四保育園の年長・中15人を対象に、合同でサツマイモの収穫体験会を開催しました。「イモサラダにしてお腹パンパンになるまで食べた」と田村穰くん（能代市第一保育所）

全国ねぎサミット宣言 2019

日本の農業を取り巻く情勢は、農業従事者の高齢化や担い手不足による経営体の減少と耕作放棄地の増大、コメ政策の大転換などに加え、国家間での様々な貿易協定等締結の動きが加速しており、食糧・農業の分野にもグローバル化・ポータブル化の潮流が押し寄せています。

我が国の農畜産物の生産量は減少を続け、野菜の自給率は、昭和40年には100%であったものが、平成29年には80%を切るまでに落ち込んでいます。

また、我が国が人口減少局面を迎えたとはいえ、世界の人口は今後も増加を続け、将来的に食糧と水の確保が地球規模の課題になると予測されており、さらには、近年、地球温暖化による異常気象で自然災害、農作物被害が多発するなど、人の暮らしを支える食に不安がよぎる状況が生まれてきています。

このような中、私たち産地の使命は、日本の農業を守り、国民の安全・安心な食生活を守りつづけることにあると考えます。

昨年度より深谷市では、11月23日の勤労感謝の日に大切な人をねぎで労う「深谷ねぎの日」としてPR活動をしており、本日は、全国から集まった私たち「ねぎ」産地関係者もねぎで労う「ねぎの日」としてより「層連携を強化し、日本の食卓に自慢の「ねぎ」をはじめとする安全・安心な野菜を届け続けることを「全国ねぎサミット2019 in まつど」の場で、宣言いたします。

令和元年11月23日

全国ねぎサミット参加産地代表 千葉県松戸市長 本郷谷 健次

# 「ねぎらいの日」とは?

11月23日を「ねぎらいの日」として初めて取り組んだのは、ネギの生産量日本一を誇る埼玉県深谷市で、「深谷ねぎらいの日」として2018年から始まりました。この深谷市を参考に、2019年には千葉県松戸市でも「松戸ねぎらいの日」として取り組まれ、同年に開催した「全国ねぎサミット in まつど」の「全国ねぎサミット宣言」の中で、全国のねぎ産地でも「ねぎらいの日」に取り組み連携を強化して、ことが宣言されたことから、能代市でも2020年に初めて「能代ねぎらいの日」の取り組みがスタートして、今回で2回目の開催です。

## ネギ生産量日本一の埼玉県深谷市での「ねぎらいの日」の様子



『ところざわサクラタウン 秋の収穫祭』(R3.11.6)  
ところざわサクラタウン中央広場において、ねぎらいの日PRと「ねぎ束配布」(100束)を実施しました。



『全小学校ねぎらいの日授業～ねぎ束制作～』(R3.9.29～11.9)  
深谷市内全小学校で児童を対象に「ねぎらい」の気持ちを込めて家族に渡す「ねぎ束」をつくる授業を行い、あわせて「ねぎらいレター」を書いて感謝の気持ちを伝えました。



来年の「ねぎらいの日」は日本一の産地に負けないようにスケールアップして開催します。お楽しみに!



『「ねぎ風呂」でねぎらう!』  
11月23日の勤労感謝の日に合わせて「深谷ねぎ風呂」が開催されました。



『浦和競馬協賛レース「農業王国ふかやシリーズ」』(R3.10.18～22)  
さいたま市浦和競馬場の地域連携企画として、深谷市「深谷ねぎらいの日賞」などを開催。副賞と協賛レース「深谷ねぎらいの日賞」が贈呈されました。

※埼玉県深谷市ホームページより



はじめまして、見上さくらです。  
お気に入りの白神ねぎ料理は「白神ねぎ」を主役にしたしゃぶしゃぶです。  
はづきさんと協力しながら、少しでも白神ねぎの知名度向上、また、未経験の女子が農業に興味を持ってもらえるように頑張りたいと思います。  
これからよろしくお願いします。

# 「白神ねぎガール」見上さくらさん(23)デビュー

今回の「能代ねぎらいの日」の会場となった特設ブースに彩りを加えてくれた「白神ねぎガール」の2人。  
2020年9月に見上はづきさんに委嘱状が手渡され、「第3回白神ねぎまつり」や初開催となった「能代ねぎらいの日2020」では会場を盛り上げてくれました。  
今年、新たに「白神ねぎガール」として見上さくらさんに委嘱状が手渡され今後2人態勢で、「白神ねぎ」の更なる知名度向上に努めて参ります。  
さくらさんの「白神ねぎガール」デビュー戦となった11月13日放送のAKT「みどりの広場」の収録では、能代市ねぎ課佐藤栄一課長と白神ねぎのん、白神ねぎガールの4人で、今回の「能代ねぎらいの日」について告知してきました。  
リハール時には緊張した面持ちの4人でしたが、本番ではアナウンサー顔負けの堂々とした態度で無事収録を終えました。  
コロナ禍の影響で首都圏市場へのトップセールスへの同行や各種キャンペーンの開催が見送られておりますが、徐々に新型コロナウイルスの感染状況も落ち着きつつあるので、動向を見据えながら、今後活躍の場を広げてもらうことを当組合でも期待しています。  
今後、皆さまも2人の活躍に対して応援よろしくお願いします。

## 撮影後、AKTアナウンサーの2人に日頃の感謝を込めて



高橋智也アナウンサーと内田優香アナウンサーへねぎらいの「白神ねぎ」を



JA midori no Hiroba の広場  
収録時の様子

Obrigado

Sant

Спасибо



パパへ  
『いつもたかいごっこして遊んでくれてありがとう。』  
見上 碧葉くん (3歳)



お母さんへ  
『おいしいご飯をいつも作ってくれてありがとう。』  
山谷 壮くん (5歳)



お母さんへ  
『いつも一緒に楽しく遊んでくれてありがとう。』  
高橋 叶さん (5歳)

能代ねぎらいの日特設ブースに  
遊びに来てくれたみんなから、  
大切な人に「ネギらい」の  
メッセージ



Grazie

ank

Thank

You

唔該

ra



お父さんへ  
『いろんな所に連れてってくれたり、  
たくさん遊んでくれてありがとう。』  
久保井 陽咲さん (7歳)



お爺ちゃん、お婆ちゃんへ  
『いつもやさしく、たくさん遊んでくれてありがとう。』  
山谷 寧々さん (9歳)



お父さん、お母さんへ  
『毎日、お仕事頑張ってくれてありがとう。』  
見上 詩月さん (7歳)

多謝  
ありがとう

Merci

♡♡

Danke

皆さんは普段から大切な人に『労い』の気持ちを伝えていますか？  
すっかり寒くなったこの季節、白神ねぎの料理を振舞ってみては？  
ユ一モアもあり、温かい気持ちもきっと伝わります。